

## エコパークかごしま（仮称）整備状況の視察のお知らせ

現在、整備工事は、コンクリート擁壁が完成、屋根工事が進む等、平成26年中の完成・供用開始に向けて進捗が図られており、施設の完成概況がイメージできます。  
つきましては、下記のとおりエコパークかごしま（仮称）整備状況の視察を実施しますので、この機会に施設の施工状況などをご覧ください。

記

1. 期 日 平成26年2月9日（日）（視察時間は1時間程度）  
（午前：10時～12時、午後：13時30分～15時30分）  
集合場所は、北薩地域振興局の予定です。（集合場所からはマイクロバスで移動します。）
2. 募集対象 薩摩川内市にお住まいの方
3. 募集人数 50人程度
4. 申込方法 ①住所・氏名（年齢）、②視察希望時間帯（午前・午後の別）、③電話番号をご記入の上、下記問い合わせ先に記載の「公益財団法人鹿児島県環境整備公社」あてハガキ又はFAXでお申し込みください。（記載例を参照してください。）  
・ 申込みは、1件につき2人までとします。  
・ 視察希望時間帯は、希望に添えない場合があります。  
・ 参加決定者には、2月4日（火）頃までにハガキでお知らせします。なお、申込者多数の場合は抽選とさせていただきます。
5. 申込期限 平成26年1月30日（木）必着

（記載例）  
①住所・氏名（年齢）  
②視察希望時間帯  
（午前・午後）  
③連絡先電話番号

## 地域振興策の実施状況について



県道百次木場茶屋線（現道拡幅工事）



県道百次木場茶屋線と旧国道3号  
交差点改良工事

県道百次木場茶屋線の現道拡幅工事及び旧国道3号との交差点改良工事については、舗装まで完了しました。今後とも、地域振興策の円滑な実施に取り組んでまいります。

### 【問い合わせ先】

- 公益財団法人鹿児島県環境整備公社 〒895-8501 薩摩川内市神田町1番22号 電話 0996-21-1220
- 鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 電話 099-286-2650

※この「環境整備公社だより」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) にて閲覧いただけます。

## 環境整備公社だより

VOL. 12

平成26年1月  
鹿児島県  
公益財団法人鹿児島県環境整備公社

## エコパークかごしま（仮称）整備工事について



「エコパークかごしま（仮称）」整備工事については、埋立地内のコンクリート擁壁工事が完了するとともに、<sup>ふくが</sup>覆蓋施設工事についても、梁、屋根の施工等を進めており、平成25年12月末の進捗率は約70%となっております。また、浸出水処理施設や点検用通路、防災調整池の工事を行っているところであり、順次、遮水工等に着手していくこととしており、平成26年中の完成・供用開始に向け工事を進めているところです。

引き続き、安全性の高い全国でもモデルとなるような施設の整備に取り組んでまいります。

## エコパークかごしま安全監視委員会について



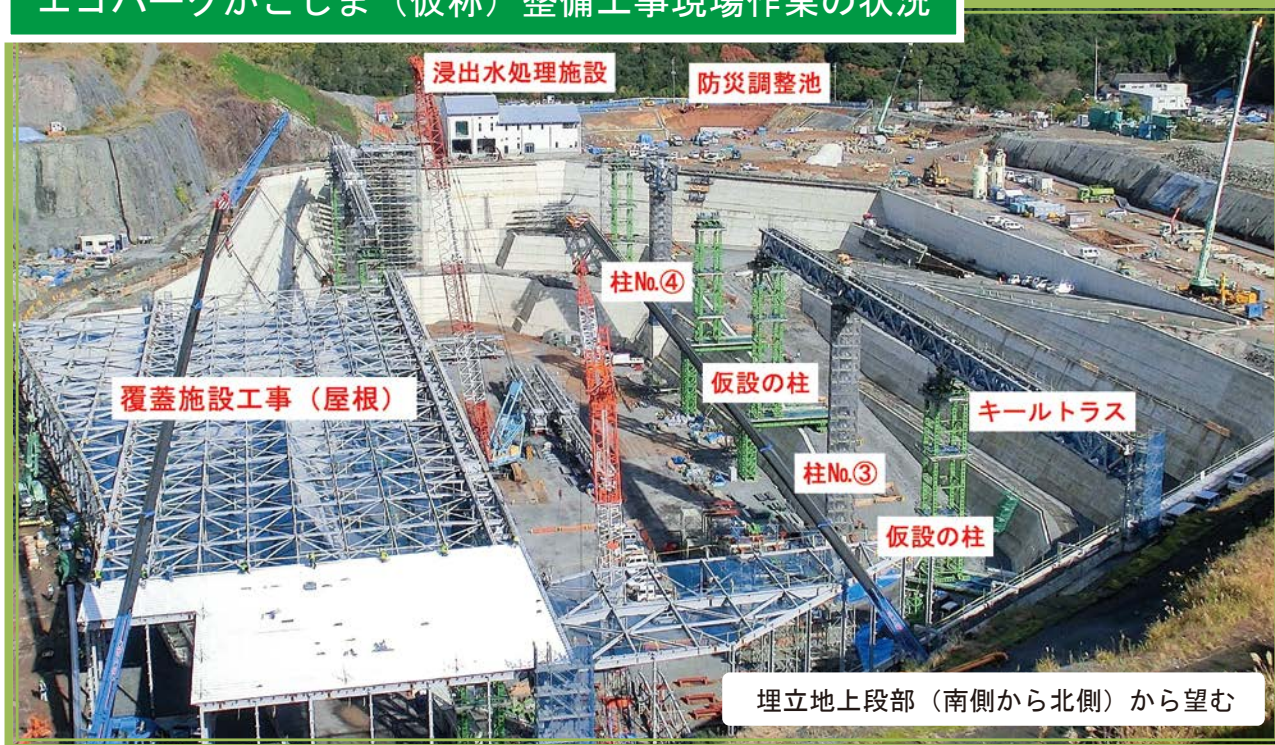
去る12月27日、第5回「エコパークかごしま安全監視委員会」が薩摩川内市内で開催され、環境整備公社から現在の施工状況を報告しました。

委員から「施工状況調査を2回行ったが、安全に配慮した施工をとられている。これから、遮水工も始まるが、重要な部分になるので、丁寧に施工していただきたい。」等の評価、今後の工事への要望がありました。

※最後のページに「エコパークかごしま（仮称）整備状況の視察のお知らせ」もあります。



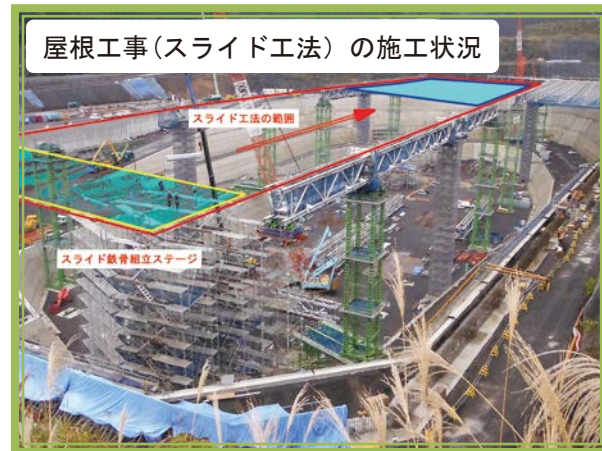
エコパークかごしま（仮称）整備工事現場作業の状況



① 覆蓋施設工事

覆蓋施設は、現在、南側から北側に屋根工事を進めているところです。屋根の中央部分はスライド工法を採用することにより、高所での作業が少なくなり、作業の安全性や効率化を図ることができます。

※スライド工法：固定した作業ステージ上で、屋根鉄骨を1ユニットずつ組み立てた後、順次水平移動させて屋根全体を施工する方法



② 浸出水処理施設

浸出水処理施設は、廃棄物に触れた浸出水を処分場内で循環利用する水質になるまで処理する施設です。今後も処理設備の設置や内装の工事を進めていきます。



③ 点検用通路工事

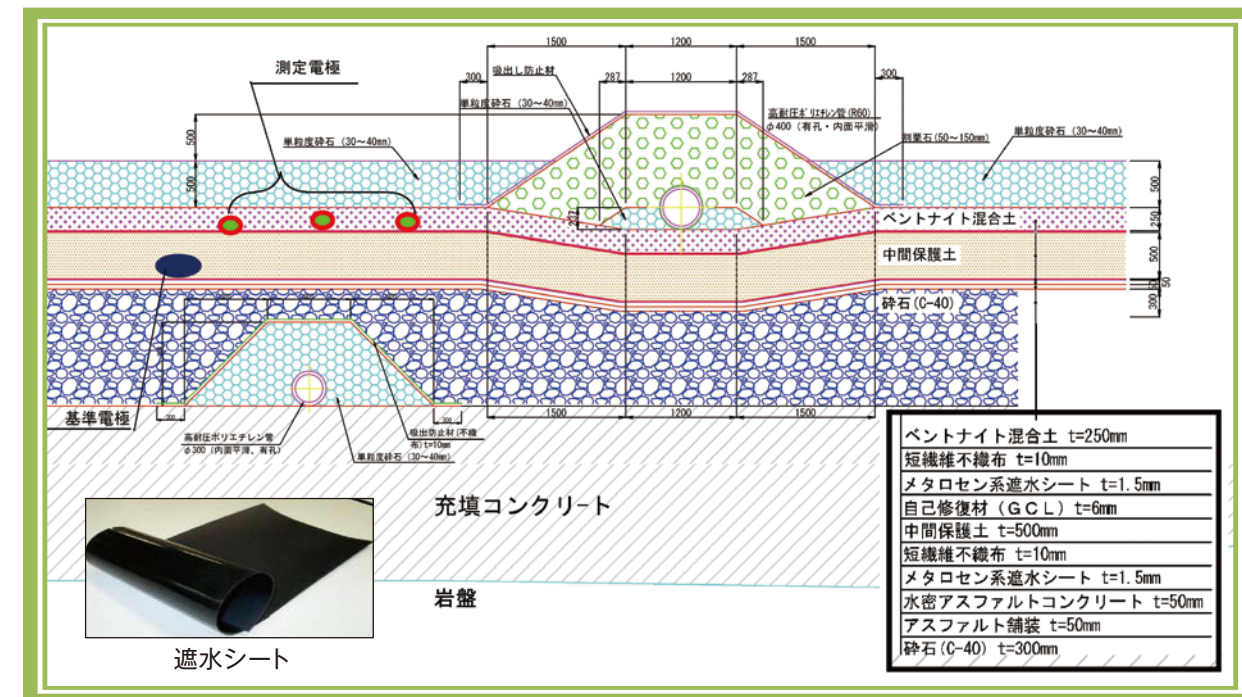
点検用通路は、浸出水や地下水の水質を監視するため、地表部から約40m下に移動するためのもので、ピットからの階段及び管理棟側の出入口が概成しました。今後、浸出水送水管や電気設備、モノレール設置工事等を進めていきます。



④ 防災調整池工事

防災調整池は、ほぼ掘削が完了し、放流設備（放流塔及び放流管）が完成しました。今後、法面及び管理道路の工事等を進めていきます。

遮水工構造について



遮水工については、基本設計で定めた2重の遮水シート及び水密アスファルトコンクリートに加え、遮水シートの保護材にベントナイト混合土を用いた難透水層を採用することにより、遮水シートの保護とともに多重の遮水機能を備えた構造となっています。

